

## 第6回 議会運営委員会

令和6年3月12日(火) 5階 第1委員会室	開会 16時23分 閉会 16時52分
---------------------------	------------------------

午後4時23分 開会

### ○委員長（樋田翔太君）

ただ今から、令和6年第6回議会運営委員会を開会いたします。

### ○委員長（樋田翔太君）

それでは、議題に入ります。

1、令和6年第2回瑞浪市議会定例会追加議案の上程についてを議題とします。

それでは、追加で提出される議案について説明を求めます。

理事（兼）総務部長 正村和英君。

### ○理事（兼）総務部長（正村和英君）

皆さん、お疲れのところすみません。本日は追加議案につきまして、議会運営委員会を開いていただきましてありがとうございます。

それでは、追加で上程させていただきたい案件について説明させていただきます。

お手元にあるかと思えますけれども、追加議案予定表をご覧くださいと思います。

提案させていただきたい案件は、予定表に記載のとおりで、条例案件が1件です。

議第41号 瑞浪市税条例の一部改正となります。この改正につきましては、今回の能登半島地震によりまして生じた住家や家財の損失について、事前にちょっと議長、それから、委員長にご相談させていただいたときには、住家という形でプラスのようなことも申し上げましたけれども、この住家や家財の損失についてということになりますので、よろしく願います。

住家や家財の損失について、臨時、異例の対応として、令和5年分の確定申告における雑損控除等の適用対象とするためのものです。

通例でいきますと1年後になるわけですがけれども、1日のことですので、この1月1日に起きた能登半島地震について、令和5年分の確定申告における雑損控除の特例を設けるための改正となります。

地方税法の改正が2月21日に公布されて、同日に施行されております。市税条例もこれに沿った改正を行っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

追加の議案、それから、議案資料につきましてですが、現在、調整中ではありますが、14日（木）には配付予定としております。

急な対応をお願いして申し訳ございませんが、何とぞよろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（樋田翔太君）

ご苦勞様でした。

ただ今の説明に対して、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、質疑を終結いたします。

---

○委員長（樋田翔太君）

次に、提出議案の取扱い及び日程の変更（案）について、事務局より説明させます。

議会事務局総務課長 加藤真由子君。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

ただ今、説明を受けました今定例会に追加提出されます議案1件の取扱いについてご説明申し上げます。

議第41号 瑞浪市税条例の一部を改正する条例の制定につきましては、一般質問の2日目となります3月19日に、一般質問終了後、追加上程、説明を受け、質疑、委員会付託を行います。

総務民生文教委員会での審査は、同日3月19日の本会議終了後に行い、採決は定例会最終日、3月22日に行うこととしたいと思います。

なお、議案は、先ほど理事（兼）総務部長よりご説明がありましたが、今週14日（木）に執行部から送付を受けた後に、全ての議員にお配りいたします。

以上、今定例会に追加で提出されます議案の取扱いと日程についての説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（樋田翔太君）

ご苦勞様です。

ただ今の説明に対して、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、提出議案の取扱い及び日程の変更については、ただ今の説明のとおり取り扱うことといたします。

---

○委員長（樋田翔太君）

ここで、執行部の皆さんにはご退席願います。

ご苦勞様でした。

〔執行部 退席〕

---

○委員長（樋田翔太君）

次に、2、瑞浪市議会委員会条例の一部改正についてを議題といたします。

こちらですが、前回の議会運営委員会のときに、お手元に配付の改正案がありまして、委員会の名称を、総務民生文教委員会は「総務厚生学教委員会」、経済建設委員会は「地域経済建設委員会」へ変更し、所管事項については「みずなみ未来部」を地域経済建設委員会に移管し、消防本部を総務厚生学教委員会に移管する内容で、おおむね問題ないことを確認しております。

しかし、委員会名が長いと、略称等の検討を含めて、各会派へ持ち帰り検討いただくと、協議いただくことになっておりましたので、再度、会派における意見のご報告をいただきたいと思いません。

本条例の改正案の内容を決定したいと思います。

それでは、改正案についてと略称名についてのご意見のご報告をお願いいたします。

新政みずなみは、4番 熊谷隆男君でいいですか。

○4番（熊谷隆男君）

第1とか第2という案も出たけども、このままのとおりということで決しましたが、いいですね。そういうことやったね。そういうことでした。

○委員長（樋田翔太君）

じゃあ、公明党、1番 榛葉利広君。

○1番（榛葉利広君）

共産党の犬塚議員にもお聞きしましたが、これに関してはこのままでいいということでした。私自身は第1、第2でもいいかなと思いましたが、まず通りませんので、よろしくお願いします。

○委員長（樋田翔太君）

承知しました。

審議会の名称につきましては、今ありましたとおり、「総務厚生学教委員会」と「地域経済建設委員会」ということでいきたいと思えます。

それに対して、ご意見はありませんか。大丈夫でしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○4番（熊谷隆男君）

もうなしっていうことやったよ。俺は嫌やけど。

○委員長（樋田翔太君）

前回、略称についてはやりながらできたところもありますので、特にここで決定していくことではないかなというふうに思いますので、略称については特に議論していかないということできたいと思えます。

○4番（熊谷隆男君）

視察行ったときなんかかっこ悪いぞうち。紹介してもらうときに、委員会が。こちらは向こうやぞって。

○委員長（樋田翔太君）

委員会条例はこちらで作るものですので、やってみてやっぱりおかしいなということがまた出て

きましたら、その都度ということですが。

それでは、改めまして、本条例の改正内容について、本委員会で決定したいと思います。本条例の改正趣旨につきましては、「瑞浪市内部組織設置条例の改正に伴い、常任委員会の所管範囲の均衡を図るために、常任委員会の所管事項及び名称を変更する」こととし、お手元の発議第1号（案）のとおり、議会発議において議案上程を行うこととしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。

それでは、この改正案により、議会発議による議案上程を行うことといたします。

---

**○委員長（樋田翔太君）**

次に、本議案の取扱いについて、事務局より説明させます。

議会事務局総務課長 加藤真由子君。

**○議会事務局総務課長（加藤真由子君）**

では、発議第1号 瑞浪市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についての取扱いについて説明いたします。

ただ今の発議第1号につきましては、本定例会最終日、3月22日に、執行部から提出された議案を全て議決し、続いて、閉会中の継続審査の申出について議決をした後に、発議第1号を上程し、議会運営委員長より提案説明、質疑を行い、委員会付託は省略し、討論、採決を行いたいと思っております。

なお、会期日程（案）は追加議案の議第41号の取扱いと、今の説明を踏まえて載っておりますので、よろしく申し上げます。

**○委員長（樋田翔太君）**

ただ今の説明に対し、質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、質疑を終結いたします。

それでは、本件につきましては、ただ今の説明のとおり、本定例会の最終日、3月22日に、執行部から提出された議案を全て議決し、続いて、閉会中の継続審査の申出について議決した後、発議第1号を上程し、議会運営委員長より提案説明、質疑を行い、委員会付託の省略、討論、採決を行います。

会期日程（案）につきましては、ただ今の説明を踏まえ、変更することといたします。

よろしいでしょうか。

**○4番（熊谷隆男君）**

一番最後やね、これが。

**○委員長（樋田翔太君）**

そうですね。

じゃあ、次に行きます。

---

○委員長（樋田翔太君）

続きまして、3、議会運営に関する主な申し合わせ事項の一部改正についてを議題といたします。  
委員会条例の一部改正に伴う「議会運営に関する主な申し合わせ事項の改正について」は、前回の議会運営委員会でも改正案を提示しておりますが、改めて本申し合わせ事項の改正について確認をしたいと思います。

それでは、お尋ねします。

本申し合わせ事項、3、常任委員会の委員会名称について、お手元の新旧対照表のとおり、「総務民生文教委員会」を「総務厚生学教委員会」に、「経済建設委員会」を「地域経済建設委員会」に改正することとしてよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

申し合わせ事項もそのように改正することといたします。

なお、定例会の最終日の委員会条例改正議案の議決日をもって、本申し合わせ事項の改正を議会運営委員会にて確認したということで、施行日を令和6年4月1日として改正を行いたいと思います。よろしく願いいたします。

---

○委員長（樋田翔太君）

次に、4、その他を議題といたします。

何かありませんか。

4番 熊谷隆男君。

○4番（熊谷隆男君）

前から議長ともちょっと話しとったことで、今日も話が出たように、前のときに、議会基本条例の見直しを2年に1回、4年に2回のっていうのを決めとったのにも関わらず、去年やらなんでもんで、それで、あれは何でかという、新しい人が入ったときに1回確認をしてもらうために見直しをして、2年やって、また2年目に、真ん中のところでやるっていうことを決めとったやつをやらなんでもんで、これをやっぱり見直しを、議長からも「やることや、思い出したわ」っていう話やったけど、やっぱりやらないかんと思うわけよ。

その辺のところをやっぱり議会運営委員会でやるべきことであるので、ちょっと考えていただきたい。

○委員長（樋田翔太君）

議長 成瀬徳夫君。

○議長（成瀬徳夫君）

その件で、私、諮問で出そうと思ってましたので。

○4番（熊谷隆男君）

ほんなら、それで。

○議長（成瀬徳夫君）

もう一度、確認のために諮問で出しますので、よろしくをお願いします。

○委員長（樋田翔太君）

ということで、議会基本条例につきまして、諮問される予定ではありますが、それでやっていき  
たいと思います。よろしくをお願いします。

あと、もう1件、市民政策提案についてですが、前の議会運営委員会が、前の議長のときに提出  
されておまして、それにつきまして、加藤前議長からご説明をいただければと思っておりますが、  
よろしいでしょうか。

○前議長（加藤輔之君）

大丈夫かね。

○委員長（樋田翔太君）

18歳までの教育完全無償化のというやつですね。

○4番（熊谷隆男君）

立憲民主党の話やな。

○委員長（樋田翔太君）

よろしくをお願いします。

前議長 加藤輔之君。

○前議長（加藤輔之君）

前の議長のときに受理したわけやない。話を聞いただけで、正式には成瀬議長になったときに文  
書が出てきたという流れです。

その中で、議長選挙の2日ぐらい前に、三輪田議員と一緒に、この陳情というか、要望書が出て  
きまして、その人が、18歳までの教育の完全無償化を実現する、してほしいという要望があるとい  
うことで話に来られて、私と三輪田議員が聞いたわけですけども、単純にそれだけの話で、あと詳  
しいことは特になかったということなんだけど、提案の意図の中に、教育100年の人材づくりだと  
か、教育は国家百年の大計である、人材育成こそ国家、日本の最重要事項である。

出典の管子においては「百年之計」でなく「終身之計」である。同古語に基づく四字熟語に「一  
樹百護」がある。

○4番（熊谷隆男君）

僕はね、これちょっと見させてもらったけども、国に、市に政策提案というのは、なんでできた  
かっていうと、陳情とかあれには出せないようなことで、やるのに手間がかかるので、ちなみに市  
民のこういうことの要望を市の市政のやっつることを要望で出してほしいと、瑞浪市内のあれで。

それをワード、具現化して、議会で報告をすると。こういう市民政策提案がありましたよと。

この今のテーマ自体は、むしろ意見書提出をしてくれっちゅうのなら、陳情で上げてもらって、  
意見書提出をしてくれということであれば、議会運営委員会で諮って、委員会付託をして、再度、

問えばいいけども、市民政策提案としてはそぐわないと僕思うわけよ。出されることが。これで進めることは、もしどうしても出したければ、陳情、請願で出してもらって、意見書をつけてほしいということを出してもらったほうが筋道が通ると思うんですよね。

それで、国に対して、高校生までは学費を全部無償にしようよってという意見書に同意をすると記載があるわけです。

だから立場から言えば、ご存知のように、立憲民主党は高校学費までを何々にする会っていうので挙げとるって、政治色が強い要求であるので、これ果たして通るかどうかは別やけども、手順としては請願とあれで挙げてもらったほうがいいと思う。

○前議長（加藤輔之君）

それで、とにかく請願にするなら紹介議員をきちっとつけて正式に出してくれっていう話もしたんだけど、もうこういう格好で来とるしということでもありますので、私としては、ここで判断をしてもらいたいと、こういうことや。

○委員長（樋田翔太君）

これの取扱いとかいろいろあるんですけども、まず、政策提案でありましたら、議会が始まる15日前までに提出とか、要件を守ってということがあったはずですし、趣旨に沿ってないというところもあるかと思います。その点につきまして、議長と少しお話をさせていただきましたので、議長から。

○議長（成瀬徳夫君）

これで。

○委員長（樋田翔太君）

はい。

○議長（成瀬徳夫君）

まあ、これ私、受け取りまして、いろいろ考えましたけども、やっぱり国へ出すんだったら、これを受けてやらないかかなと思ったんですけど、これを見ますと、瑞浪市でやれっていうことは、瑞浪市の大学、高校が幾つあるんだとなると、瑞浪市の高校なんかないんですよ。

○4番（熊谷隆男君）

そうやね。これ私学も含んでやね。

○議長（成瀬徳夫君）

そうそう。だから、それに対して、私学の人でも、瑞浪市の、市民の18歳以外の人がおるんだわ。その辺があるので、ちょっと矛盾したところがあるのかなと思ひまして、これは受け取るだけにしとかな仕方がないっていう気になりました。

○4番（熊谷隆男君）

うん。出すところが間違っている。

○委員長（樋田翔太君）

すみません。まず、挙手発言でお願いします。

まあ、取扱いにつきまして、やはり出し先等、いろいろ違っておるところもありますので、議長が言われたとおり、これは取り扱わないということで進めたいと思いますが、皆さん、よろしいでしょうか。

○3番（柴田幸一郎君）

ちょっといいですか。

○委員長（樋田翔太君）

3番 柴田幸一郎君。

○3番（柴田幸一郎君）

その方にはどうやってその答えを出すんですか。例えば、口頭でお話するか、それとも、文書で却下したということを出すのか、どういうふうな対応を取るのかしらんと。

○委員長（樋田翔太君）

議長 成瀬徳夫君。

○議長（成瀬徳夫君）

一つは、15日前だったんで、こうだったんで無理だよと。受け取るのは無理だよということと、あと一つは、瑞浪市の18歳の子どもだけが対象になってしまうっていうことは、やっぱりまずいんじゃないの。各学校で。だから、これは国へ出していただきたいという形で。

○3番（柴田幸一郎君）

口頭で。

○議長（成瀬徳夫君）

口頭なり文章で、それで。

○3番（柴田幸一郎君）

口頭か文章かどっちかで出すという。

○4番（熊谷隆男君）

これはまあ、加藤前議長が聞かれたもので、それは直接会われたのにさ、加藤前議長も聞いてって、返事せんのも気持ち悪いやらで、加藤前議長からやってもらったらどうですか。

○委員長（樋田翔太君）

まず、挙手発言でお願いしますということと、今、言われたとおり、受け取られたのは加藤議員が議長のときですけども、今回は議会に提出されまして、議長がそういう判断をされましたので、議長の判断のとおりしていこうかというふうに思っておりますが、よろしいでしょうか。

○2番（棚町 潤君）

ちょっと1個、質問いいですか。

○委員長（樋田翔太君）

2番 棚町 潤君。

○2番（棚町 潤君）

そもそも加藤前議長に質問なんですけど、高校の無償化って言われますけど、今現在、無償化さ

れてるような気がするんですけど。私立はそこまでではないと思うんですけど、それはどこまでの範囲のことを言うのか。

○前議長（加藤輔之君）

ただ、本人がどこまで分かるとるかどうかわからないか、これ。そやから、例えば、瑞浪市で、ほんなら具体的にどんだけ出せば、市の予算でどんだけ出せばみんなただになっちゃうかちゅう、そういう計算もできるわけよ。市費でどれだけ出すか。

そういう根拠もなしに言っとるんじゃないかなと。

○委員長（樋田翔太君）

自治体によっては、東京都とか大阪府とか、そういったところの予算でやってるところもあるんですけども、ちょっと規模感全然違いますし、私立・公立との差もありますし、18歳を超える場合もいろいろあると思いますので、そういうことも含めてみましたが、取り扱うべきではないかと。

○3番（柴田幸一郎君）

これは三輪田議員については全く無視っていう状況ですか。

○4番（熊谷隆男君）

三輪田議員一緒におらんかった。

○3番（柴田幸一郎君）

一緒にいたかなって。

○委員長（樋田翔太君）

市政一般の事務の中に入ってくる部分を超えておりますので、なかなかそこは取扱い難しいです。

この案件につきましては、議長からご発言がありましたとおりに、文書なり口頭なりで取り扱わないようにすることをお伝えしたいというふうに思います。

よろしいでしょうか。

○4番（熊谷隆男君）

はい、よろしい。

---

○委員長（樋田翔太君）

その他、何かありますでしょうか。よろしいですか。

○1番（榛葉利広君）

1点だけ確認していいですか。

○委員長（樋田翔太君）

1番 榛葉利広君。

○1番（榛葉利広君）

それこそ先ほど委員会で所管する部署が決まったんですけど、決まったというか、これから決まるんですけど、こうなったときに、広報広聴委員会への原稿記載なんですけど、特に消防の案件ですね。今までやと経済建設委員会が扱って、あそこの欄に書いてたと思うんですけど、今度の5月

に出す、ここで聞くべきか分かりませんが、どうしたものかなと思っています。

○議長（成瀬徳夫君）

広報に出すのにか。

○1番（榛葉利広君）

所管が変わるので。

○委員長（樋田翔太君）

3月議会におきましては、現行の委員会なんですけども、その辺を広報広聴委員会でどう扱うかっていうことはまだ伺っておりませんが。

○4番（熊谷隆男君）

3月の委員会報告は載せないかんわけやら。そやけど、そうするとやっぱり。

○委員長（樋田翔太君）

現行ですね。

○4番（熊谷隆男君）

現行の3月末日までの委員会で出さんとおかしいんやないの。

○委員長（樋田翔太君）

消防につきましても、みずなみ未来部というか、企画につきましても、現行の部署で取り扱おうと。

○1番（榛葉利広君）

委員会名も現行で出すということですね。

○委員長（樋田翔太君）

そうですね。

○1番（榛葉利広君）

その確認が取れて。

○委員長（樋田翔太君）

ということでよろしいですね。

3番 柴田幸一郎君。

○3番（柴田幸一郎君）

予算決算委員会の際の各部長が1個ずつしゃべるというものについては、今後どういうふうに議論をしていく予定なのかを教えてください。

○委員長（樋田翔太君）

それにつきましては、そもそも熊谷委員からご提案がありましたし、予算決算委員会の中で重複する説明もあるので。

○4番（熊谷隆男君）

この間の議会運営委員会で議決したやないの。

○委員長（樋田翔太君）

執行部側で調整して、どこまでの説明に短縮できるかっていうことは、今後やっていこうと思う

んですけども、3月議会の提案は終わっておりますので、今後、この議会運営委員会でそれも取り扱って判断していきたいです。

○4番（熊谷隆男君）

補正予算の6月議会まで。

○3番（柴田幸一郎君）

これで、いい方法を今後考え、調整するっていうことやね。ここではね。

○4番（熊谷隆男君）

委員会報告というか、予算決算委員会の質疑をあそこですのために部長が説明をするわけやけど、それが不必要ということやもんで、何も新しいものを作るわけじゃなくて、あそこがなくなるっていうだけやと僕は思うけど。説明で。

○5番（柴田増三君）

議案上程はせなあかんもんで、議案上程の中には持ってこなあかんという。

○4番（熊谷隆男君）

あのときに議案上程しやへんでね、説明だけやった。あれは議案の説明のところだけ。部長の。

○5番（柴田増三君）

議案上程の中の説明やら。

○4番（熊谷隆男君）

上程だけしてもらえばいいのにな。

○5番（柴田増三君）

上程だけしたらいい。総額で幾らとか、300万円とか、その程度。

○4番（熊谷隆男君）

総務部長だけやないの、あれは。

○5番（柴田増三君）

総務部長がそれをやればいいんやろ。それだけやれば。

○4番（熊谷隆男君）

そこは、各部の部長が出てこれば、また同じようになっちゃう。

○委員長（樋田翔太君）

議案上程でありますけども、上程して、どこまで詳細にしゃべるかっていうことに、お話しすることにつきましては、今、こういう形態をとってますけども、それはどこまで割愛できるかとかいうことにつきましては、ちょっと執行部と相談して、今後、短くできる方向で検討していきたいと思えます。

○4番（熊谷隆男君）

はい。

○委員長（樋田翔太君）

はい、どうぞ。4番 熊谷隆男君。

○4番（熊谷隆男君）

皆さん、議会運営は、執行部がするんやなしに、議会がするんやから、俺が言い出したときに、議会からそれを言い出してもらえば、ありがたいって言いよるやつを、またここでこれを伺いすることなんか、俺は何もないわけよ。

逆に言って、異論があるなら言ってこいっていうぐらいでいいわけ。これでやりたいけども、そちらへ行かれたやつと、またこれは違うんやて。議会の運営なんやからさ。

そやから議会運営委員会があって、議会日程を決めるのにわざわざ来て、日程を入れてくださいって行って来るわけやから。その立ち位置からしたら、ある程度こちらが主体性を持って、こういうふうにするでって言えばいいってわけ。

それで、内諾だけは下準備で取っとくと。そしたら、円滑にいけるもんで。

そんなに下のご意向を聞くことじゃないと思う。

○委員長（樋田翔太君）

最低限、どこまでを説明するかというところは、やっぱり調整する必要があると思うので。

○4番（熊谷隆男君）

僕らで委員会をやるので、予算決算委員会のときに同じようにやっていくわけやもんで。

○委員長（樋田翔太君）

そうですね。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

何条、説明内容によって決まりがあると思う。決まりは特にはないんですけども。

○委員長（樋田翔太君）

そうですね。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

その部分は要るっていうのはあると思うので、それもここで決めてしまえばいいんじゃないかと思えます。

○5番（柴田増三君）

総務部長が、総額の部分だけをしゃべればいいよ。

○議会事務局総務課長（加藤真由子君）

はい。

○委員長（樋田翔太君）

だから、議案も読み上げで、総額の部分だけで済むのかという、一応確認をさせていただきますけども、そういった方向で行けるかと思えます。

○4番（熊谷隆男君）

もう今、どこかで総額をしゃべらんなんって言いやあ、そういうあれやけども、予算決算委員会のときに言ってくれたとて、言うこと一緒やよということで、一番最初は歳入から始まるんやから、総務部長の挨拶から始まるやつやもんで、全員そろつとることも変わらんので、同じことやよとい

うことだけです。

それを議会で、我々が必要やとするわけや。そこでやりたいわけやら。やらせたいわけやら。総務部長に。やらしたくなきゃ、いつだって蹴れるもんやで。ここで決めりゃあ。

言わせてもらえば。向こうにそう、へりくだって気を遣うこともなくと思います。

○5番（柴田増三君）

上程のルールがどこまでか。

○4番（熊谷隆男君）

あれへん、ルールなんか。議会の決めることやもん。

○委員長（樋田翔太君）

とりあえず予算決算委員会が終わってしまいましたので、今度、補正からになると思いますが、できるだけ短くする方向で動いていきたいと思います。よろしくお願いします。

以上で。

ほか、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

---

○委員長（樋田翔太君）

では、ほかに発言もないようですので、これをもちまして令和6年第6回議会運営委員会を閉会いたします。

午後4時52分 閉会